

地球を守るカードゲームの開発と実践

滋賀県立水口高等学校 今安 和彦

1 はじめに

環境学習の教材に、自分の日常生活を見直す「生活点検」がある。普段の行動が環境に悪い影響を与えていることに気づく効果は見受けられるが、生活を変えてみようという意識の芽生えまでには到らなかった。配付した生活点検プリントが授業後、そのままゴミになっていることさえあった。そこで、生活点検をトランプ大のカードでおこなう工夫をした。学習後、使用したカードを用いた遊び方を生徒と考案したのが、「地球を守るカードゲーム」である。

2 活動内容

(1) カードゲームの開発

平成12年度に地学ⅠAの単元「(5)地球と人間」で環境学習に取り組んだ。「環境にやさしい生活点検」をカードでおこなった。その他、3つのアクティビティで作成したカードも用いて、ゲームを開発した。考案された遊び方には3つの設定がある。地球を汚しているのは自分であると認識するねらいのもの、みんなで地球を守ろうと取り組む姿勢を養うもの、そして、今の自分達の生活では地球はどうなるかをゲームの遊び方として3つのシュミレーションするものである。この設定によって、ゲームをすることで自分達の生活が環境汚染と結び付いていることを認識し、環境問題を自分の問題としてとらえることのできる効果を持たせることができた。

(2) カードゲームの内容

遊び方としては、カードを順番に捨て、カードにかかれたポイント分が地球への負荷のポイントとする。ポイントが100点以上になると地球を最後に汚した犯人になる。また、100点以上にならなかったら地球を守ることができる。

(3) カードゲームの実践

カードゲームを汎用性のあるものにするために、平成13年10月に「青少年のための科学の祭典」滋賀大会に出展し、小学生を対象にカードゲームを

おこなった。ゲームをしてもらった小学生は64人となった。また、平成13年11月に行われた第9回世界湖沼会議において、ポスター発表をし、御意見をいただいた。それらの意見や小学生の反応をみて、カードゲームに改善を加えた。平成13年度の授業では、カードゲームをおこなうまでの環境学習のプログラムをさらに追加した。作成したカードゲームは自分で印刷したものを使用していたので数が少なく、小学生に配付することができず、「家族と家でやってみたい」の声に答えられなかった。そこでカード印刷を業者に依頼した。

3 今後の課題

カードゲームが印刷できたことで、平成15年度より始まる総合的な学習の時間の準備ができたと言えよう。環境学習の教材として活用できるよう指導案の作成が必要である。カードゲームを使っただけの効果的な学習ができるようなプログラム集の作成に取り組んでいる。カードゲームを使う研修の機会をもち、教育的効果をみる研究に取り組みたい。そのため、皆様方にもカードゲームを使っただけ、ご批判を仰ぎたい。

4 参考文献

- 村杉幸子・市石博, 1988, 鳥カードにおける生態のゲーム: 環境教育のためのゲーム教材, 遺伝, 42 (10), 87-91.
 高月紘編著, 1998, 自分の暮らしがわかるエコロジーテスト, 講談社.
 藤村コノエ発案, 1999, STOP!! 温暖化ゲーム, (有)エコ企画.

